

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 5 日作成)

小委員会名	空間研究小委員会	主 査 名：大佛 俊泰 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：布野 修司
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築・都市空間に関する研究にあたって、様々な調査方法や分析方法の有効性や可能性について、広く他研究分野と比較を行いながら検討する。さらに、各種の空間やそれらに関連する事象を取り上げて、その意味について議論することを目的に、幅広い分野から講師を招き、研究会やシンポジウムを行う。 ・ 蓄積された活動や議論の成果を出版物として刊行して、学会員に広く公表する。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 2名	
	主査：大佛俊泰(東京工業大学) 幹事：郷田桃代(東京電機大学) 橋本雅好(椋山女学園大学) 委員：金子友美(昭和女子大学) 北川啓介(名古屋工業大学) 佐野友紀(早稲田大学) 積田洋(東京電機大学) 橋本都子(千葉工業大学) 日色真帆(愛知淑徳大学) 樋村恭一(大妻女子大学) 松本直司(名古屋工業大学) 飯田匡(大阪大学) 木川剛志(福井工業大学) 瀧澤重志(京都大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	シンポジウム WG：空間研究小委員会主催のシンポジウム企画のため 出版 WG：空間研究をテーマとした出版物刊行のため	
2006 年度予算	249,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『空間デザイン事典』(井上書院)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 2006年7月・第60回研究会 空間デザイン事典出版記念シンポジウム 「魅力ある建築・都市空間のデザイン手法について」 参加者数 名 (資料名) 魅力ある建築・都市空間のデザイン手法について 2. 2006 年 10 月・第 61 回研究会 建築と都市の間に潜む危険 日本の防犯環境設計の現状とこれから 参加者数 名 (資料名) 建築と都市の間に潜む危険 日本の防犯環境設計の現状とこれから 3. 2007年3月(予定)・第62回研究会 バングラデシュの建築遺産と現代建築 参加者数50名(予定) 4. 2006年12月にミニ研究会を実施し、空間研究分野の若手研究者による研究発表と 討論の場を設けて意見交換を行った。
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 建築・都市空間に関する研究における方法論の可能性を探ること、また、各種の空間の意味を議論することを目的として、3回のシンポジウムを開催し、国内および海外の建築家や研究者を招いて、討議した。</p> <p>2. 出版物『空間デザイン事典』を刊行し、成果を公表した。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 設置目的は十分に達成されていると考えるが、今後の建築計画研究の新しい方向を切り開くような新しい調査・分析方法の開拓が今後の課題である。</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。